

奈良市後援

大人の学び場セミナー

3/29(日)

13:30~16:30

奈良女子大学

自分人生・・・そして自分の最期

老後ぐらい、

好きにさせてよ

（セカンドライフを愉しむ学び）



ごめんなさい。
もう親の役割は終了させていただくわ

結婚して家事が始まり、
子ども達が生まれて子育てが始まった。

気が付いたら、家族のため、生活のために私の時間はどんどん消費されて、自分の時間ってものを忘れていたことに気が付いたの。

パパも仕事を終えたんだし、
私だってもう家事とはさよならよ。

やれることは全力でやった。
失敗もしたし反省もしたけど「後悔はないの」
後は、それぞれの人生を楽しんでくれればいい。

まだまだ気力も体力もあるこれからのセカンドライフを
思いっきり自分時間に使って愉しみたいの。

文句でも言いたいのなら、聞くことくらいはするわ。
でもね... これからの私の人生は準備万端なのよ

老人になれない日本人

64 年前から平均寿命は16 歳延びて、健康寿命は15 年延びたのに、年金受給年齢は10 年しか延びていない。

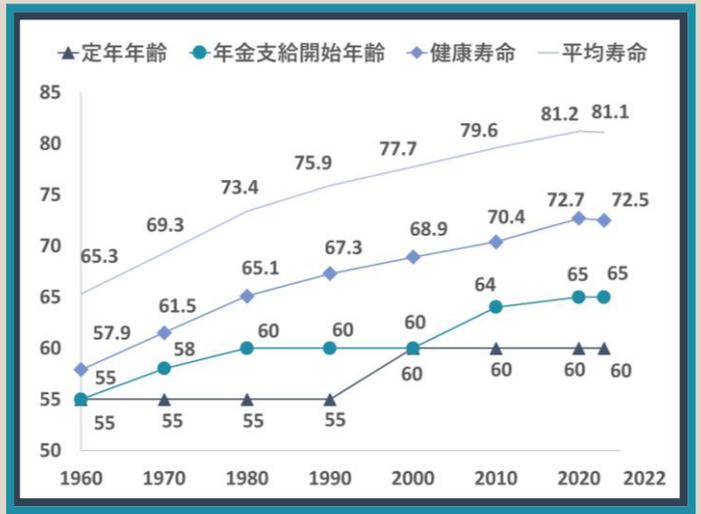
どうして私たちはこんなに歳をとらなくなつたんだらうか？

その原因を説明すれば、人生で自分時間が最も長いセカンドライフを愉しめると思う。

こんなに健康寿命も平均寿命も延びているのに、両親や祖父母といった、昔の慣例に従っている場合じゃない。

まだまだ健康でモチベーションも高くスキルも発揮できる定年で、仕事を辞めて社会と縁を切るのはどうなのか？

セカンドライフの仕事の位置づけを、現役時代とは変えてみるのも一つの方法だが、人間の思考というものは、なかなか頑固にできている。特に日本人は、慣例や周囲を見習う傾向が強い。それではセカンドライフは愉しめない。



【図表】厚生労働省調査報告書から作成

現役時代、それぞれの役割を必死に果たしてきた。まだまだ健康な夫婦が突然家の中で四六時中一緒に過ごすのは、摩擦を起こす原因にしかならないのは当然のことだ。

お互いの人生、お互いの未来をシェアしながら円満な関係を築くのが準備として必要だが、何を話していいものかすらわからないというのが現実だ。

「真面目」からの脱却

人生で自分の好きに自分時間を過ごせる時間がセカンドライフだが、愉しみたい願望はあっても、実際に愉しむ人は少ない。

その大きな原因の一つが「真面目」。この言葉である。

真面目という言葉が英語に直訳すると Serious (=深刻)、勤勉で入念・熱心・という単語として「diligent」という単語を用いる。

日本人は「真面目」を叩きこまれる。しかし、愉しむことに真面目さは必要なのか？

この「真面目」という私たちに沁み付いた価値観を愉しむに転換しないと、今からの時代もセカンドライフも愉しめないというのが講師の考え。

では、人生最期まで自分らしく生き、人生を愉しみつくすには何が必要か？ 今回この講座では今すぐにでもやってほしいセカンドライフに向けた準備と思考転換を具体的に実践できるように学ばせてくれる。

介護や相続、子ども達のことを考えるよりも先に自分の人生を愉しむことを考えてほしい。

講演概要

老後ぐらい、好きにさせてよ

〔日時〕 3月29日(日) 13時30分～16時30分

〔場所〕 奈良女子大学
(奈良市北魚屋東町)

〔講師〕 松井秀也 (司法書士)

〔定員〕 90名 (受講無料)

講演内容

- ・セカンドライフ前の下拵え
- ・楽しく生きる！
- ・介護期までに決めておくこと
- ・自分らしく生きる
- ・もし、認知症になったら？
- ・子供たちが言えない親へのホンネ
- ・家族の介護・相続会話術
- ・我が家の「ストレス相続」物語

講師プロフィール



講師 松井秀也

株式会社デンソーにて自動車エアコンの開発・設計に従事。家族の相続トラブルを経験し、在職中に司法書士試験合格。司法書士法人名南経営勤務。財産承継支援で千件以上の対応実績を経て、相続による家族間承継・事業承継の問題に対し、未然に防ぐことを目的に相続専門事業起業。2022年より相続前の準備や対策、問題を未然に防ぐための講演を全国で行い、個別相談に対応する。

受講申込

※二次元コードからは24時間お申込み可能です。お電話からのお申込みは、既に満席の可能性が高い旨ご理解ください。



受付: はなきりん事務局

☎ 0120-870-041

(平日10時～16時)

〔主催〕 はなきりん (一般社団法人暮らし振興支援機構)
〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口2-10-22
TEL: 0798-61-7723

〔後援〕 奈良市

はなきりんセミナーは人生を愉しむ大人の「学び場」代表理事大田麻美がこれまで20年、8万組以上の無料相談に対応する中、様々な人が抱える問題や不安をリアルタイムで把握し「学び場」提供活動を行う団体です。